

最終案を受けたレビュー

令和5年12月6日

ユース代表：次世代のSDGs推進プラットフォーム代表、持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム共同事務局長 田中梨奈

1. 若い世代の「意味ある参画」の言及に対して歓迎
 - a. ただ、「これらの取組を将来にわたって継続的に加速していくとの観点から、若い世代の意味ある参画の拡大に取り組むとともに、教育の場を通じて持続可能な経済社会システムのあり方を学ぶ機会の拡大に取り組んでいく。」
 - i. ➡その観点以外でも若者の意味ある参画は拡大されるべき：太字部分削除
2. 障害者の方のことが言及されていない
 - a. 「②「誰一人取り残さない」包摂社会の実現」部分で以下に言及すべき
 - b. 「障害者の参画のためのアクセシビリティを保障する」
3. 各ステークホルダーの役割について
 - a. ユース
 - i. 「いつの時代においても、その時代におけるユースが主体として議論に参加できる場を整えるべき」に言及すべき
 - ii. 次世代プラットフォームの言及を歓迎
 - iii. 歓迎
4. 各ステークホルダー
 - a. 各ステークホルダーに共通する役割
 - i. ユースの意味ある参画
 - ii. ➡あるいは、直面する課題のところに、各ステークホルダーの役割について言及すべき
 1. 「各ステークホルダーとの連携」
 - a. 社会の実現のところの言及は良い
 - b. ➡直面する課題でも言及してはどうか
 - b. 他のステークホルダーのところにも、「ユースの参画」を言及すべき
 - i. もしくは、ユースのところに「他のステークホルダー」との協働に言及すべき
 - c. 教育機関
 - i. ESD—SDGsをより自分事化できるような内容を提供を目指す
 - d. メディアの言及があるべきではないか
 - i. 各ステークホルダーの説明責任・SDGsにおける循環、他者との関わり、サプライチェーンの透明化・見える化の向上